

## 【回答者：町長】

Q： 日本赤十字活動への理解と支援について、意見をお伺いしたい。

A： 日本赤十字は、人道・公平・中立・奉仕などを原則とした社会に貢献する世界的ネットワークがあります。町内にも赤十字奉仕団もあり、各種ボランティア活動にご尽力いただいております。大変ありがたく思っています。町としても赤十字活動に参加していただけるよう、奉仕団と連携していきたいと思っております。

回答日： 平成 22 年 7 月 9 日 担当課： 健康福祉課

Q： 私は白坂地区に住んでいます。場所により携帯電話の入り具合が悪くなります。近くの集落用に鉄塔が建つという話もありますが、改善されるのでしょうか。

A： 今年、不通話地域である屋敷・檜木平・熊沢地区を対象地域とした鉄塔が整備されますが、このことでお住まいの白坂地区の通話状態が改善されることはありません。通信事業者では、すでに白坂地区は通話可能地域と位置付けられているため、今後は各社の判断となります。

回答日： 平成 22 年 7 月 9 日 担当課： 企画情報課

Q： 町での個人情報の取り扱いの考え方について教えてください。

A： 個人情報の取り扱いについては、原則として本人の同意がなければ公開することはありません。

回答日： 平成 22 年 7 月 9 日 担当課： 総務課

Q： 住宅団地やさゆり公園の雑草が気になります。さゆり公園は町の顔でもある施設ですのできれいにしたいと思っております。

A： 環境美化については、徹底していきたいと思っております。現在、さゆり公園についてはすべての植栽について刈り入れ、草刈りを実施しております。さゆりが丘住宅団地についても手入れをしますが、自治区でのボランティアにもご協力いただければ幸いです。

回答日： 平成 22 年 7 月 9 日 担当課： 商工観光課

Q： ため池の樋管故障があり困っています。水田に水が必要な時期になると不安です。

A： ため池の調査を行っていますので、原因を明らかにし、水田管理が適切にできるよう対応します。

回答日： 平成 22 年 7 月 9 日 担当課： 建設水道課

Q： 県道消雪栓の故障について町に連絡したところ、早速、担当職員が対応してくれた。また、古い消火器の放置についても危険物として早急な処理をしてくれた。古い消火器が爆発したりすると大変なところだったので、安心したところです。

A： ご意見に感謝いたします。日頃より、住民の皆さんの要望に添って、職員自らができるものについては実行するように指導しています。日常生活の中での相談事や用事など、気軽に声をかけていただきたいと思います。

回答日： 平成 22 年 7 月 9 日 担当課： 総務課

Q： 町内の若い人で就職できない人がいます。町は失業対策に取り組むべきではないでしょうか。

A： 県内の雇用状況は有効求人倍率 0.4 となっており、その中でも会津管内はもっと厳しい実態にあります。町では短期間であってもできる限り対応しており、緊急雇用創出事業などに積極的に取り組んでおります。就職できない方については、近日中に「無料職業相談所」を開設して相談を受けていきます。

回答日： 平成 22 年 7 月 9 日 担当課： 商工観光課

Q： 閉校している学校施設を、夏休みや冬休みなどの都市部と農村の交流施設として利用するなどして、自然を楽しみ、勉学やスポーツのできる町として取り組んではどうでしょうか。

A： ご提案を含め、地域の皆さんと十分に協議していきたいと思います。地域の活性化や学校の利用計画として町として取り組んでいきます。

回答日： 平成 22 年 7 月 9 日 担当課： 企画情報課

Q： 西会津の名前を全国に P R する取り組みを積極的に行うべきではないでしょうか。

A： 都市部との交流人口の促進を図ることは、私の政策目標のひとつであります。本町は、豊かな自然、風光明媚な観光施設、高速道路インターチェンジの活用などとても恵まれた環境にあると思われまますので、町ホームページのほか広報活動を行っていきます。

回答日： 平成 22 年 7 月 9 日 担当課： 商工観光課

Q： 鏡山の山開きイベントに参加しましたが、気になった点について意見いたします。  
また、もっとイベント性を持たせた催しを計画するとより良いと感じました。

A： ご意見、参考とさせていただきます。ご理解いただきたいことは、主催者である「西会津山の会」では事前の登山道の確認、草刈りを行うなど、万全を期してけがや事故のないように取り組んでいます。多少の行き違いは登山仲間でカバーしあっていただきたいと思います。

回答日： 平成 22 年 7 月 9 日 担当課： 商工観光課

Q： 出戸集落は良質の土壌が多く、良い作物の育つ地域です。野菜も良いものが生産できます。そこで個々の農地をまとめて、機械化を推進し効率良く付加価値の高い園芸作物を進める計画など進めてはどうでしょうか。

A： 町の農業政策の課題解決には、農業後継者育成、集団化による農用地の有効活用、農産物の特産化や加工品づくりなどに取り組むこととあります。ご提案の地域の特性を活かした付加価値の高い農産物づくりを推進し、所得向上につなげるということは、全く同感であります。モデルとなる集落を支援しながら、新たな集落営農を実現したいと考えます。

回答日： 平成 22 年 7 月 9 日 担当課： 農林振興課

Q： 山ブドウを材料としたワインづくりを考えてはどうでしょうか。平地でも栽培可能な山ブドウの改良に取り組み作付面積を増やし、安定した材料供給も可能とします。地域おこしにもなるうえ、遊休農地の解消にもつながると思われま。

A： 大いに奨励すべき課題であります。すばらしい内容であり、全国的にはすでに商品化しているところもあるようです。山ブドウの量産化が必要となりますが、モデル的に実施する方がいれば、町としても支援して行きたいと思えます。

回答日： 平成 22 年 7 月 9 日 担当課： 商工観光課

Q： 生ゴミを堆肥にして利用してはどうか。私の家では機械で堆肥を作って農地で利用しています。今後、加工品開発が進めば、発生する生ゴミの受け入れにもなると思えます。

A： 家庭から出る生ゴミの堆肥化は奨励すべき事業であると考えます。町内事業者にこうした取り組みを行う話もあり、具体化するようであれば町としても協力していきます。

回答日： 平成 22 年 7 月 9 日 担当課： 町民税務課

Q : 私の集落にも空き家が増えてきました。町内全体にもいえることだと思います。中には十分に使えるものもあるようなので、田舎暮らしを希望する方への紹介など、その利活用について検討していくべきではないでしょうか。

A : 町のホームページにも空き屋情報を掲載しています。今後、グリーンツーリズム協議会などで具体的な取り組みがされると思います。持ち主との関係がありますので、町としても調査していきたいと思います。

回答日： 平成 22 年 7 月 9 日 担当課： 商工観光課

Q : 水に高い圧力をかけて、一気に噴射することで効率的な発電をする設備として「水圧発電」を考えてみました。小さな力で何倍もの電力が得られ、大きな落差を必要としない平坦地でも可能であると考えています。大学や関係機関に働きかけて研究していただいてみてはどうでしょうか。

A : 新しいエネルギー構想として、水力・風力・太陽光・発酵熱などの自然界を活用したエネルギー対策が進められています。本町では河川を利用した水力発電やご提案の水圧発電もひとつかと思えます。今後、成功事例を視察するなどして、具体化する場合の課題などについて調査を行いたいと思います。

回答日： 平成 22 年 7 月 9 日 担当課： 企画情報課

Q : 今年の5月より、リフレッシュサービスを利用しています。利用した後は、また介護に頑張ろうという思いになり、家族に対する思いやりに感謝しています。

A : 事業を利用いただきありがとうございます。介護する方の心と身体の負担を軽減していただくための事業であり、これからも利用していただきたいと思えます。

回答日： 平成 22 年 7 月 9 日 担当課： 健康福祉課

Q : 私は、まちづくり条例の必要性について疑問を持っています。この条例がなくても、今ある法律などで行政・議会・町民による協働のまちづくりは確立できると思う。町民は選挙で自ら支援する立候補者を送り出すことにより行政に参加したこととなり、協働のまちづくりの目的は計られると思う。

A : 町は、平成 16 年 9 月議会において合併しない町を宣言しました。これに基づきまちづくりの指針となる「まちづくり基本条例」を策定しました。町民・議会・行政の役割を明らかにして、協働で参加する基本姿勢をうたったものです。関係法令に基づき作成したものではありません。必要性については、すでに議論がなされ制定されたものですので、ご理解いただきまちづくりにご協力をお願いします。

回答日： 平成 22 年 7 月 9 日 担当課： 総務課